



2013年25年度が始まりました。季節は春から初夏に入り、今は藤の花が咲き誇っています。4月は小学校の入学式・幼稚園&保育園の入園式、子どもたちの門出の春でもあります。

初めての幼稚園・保育園・小学校生活は、親も子どもも不安を感じるのは当たり前。でもその不安を子どもは敏感に感じ取る名人でもあります。親として子どもに出来ることは、保育園・幼稚園の担任の先生を信頼し、楽しく過せる場所であることを伝えましょう。そして、子どもの体調に変わりはないか毎日チェックする習慣をつけ、早寝早起きの生活のリズムを整え、元気に送り出してあげましょう。おいでおいでルームは、進級したお友だちが保育園や幼稚園に入園して入れ替えの時期でもあります。今年度も子どもとママが育ち合える居場所作りに励んで参ります。何卒ご協力ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

人との関わりそれは社会性の発達・・・ルームでも話題になる1・2さいの子どもの姿

代表 伊東二美江

1歳で良く見られる「取る⇔取られる」は、おもちゃ等、他児との間で物の取り合いがみられ始め取られると怒り、泣いたり騒いだり、他の子どもをたたいたり、時には噛み付いたりもします。子どもの社会化を促すために乱暴なことは大人が止める必要があります。

2歳では、「いい⇔だめ」の時期を迎えます。子どもは自分の思い通りにしたがるようになります。

「自分で」という主張もその表れです。「自分で」と言う気持ちは、自立のためにはとても大切です。ただ、人の話を聞けないままになってしまうと、社会化が進まなくなります。まわりのこどもや大人と、折り合いをつけられるようになることが課題になります。

3歳では「好き⇔嫌い」の個性の表れともいえます。自分の好きなことが他の子たちと違うから「自分は自分」と言えるのです。この時期になると子どもは、大人が自分の「好きなこと」を無視すると怒り、自分を尊重することを求めてきます。ただ子どもが好きなことしかない、となれば”困った”になりますが、好きでないことも遊びを通して経験させることも必要になります。

このように社会性は12・13歳まで育ちを見守る必要があります。ルーム内で日常的に起こるトラブルも遊びを通して、大事な人との関りの一歩でもありますので、大人が見守りながら子どもの育ちを育んで行きたいと常々思い発進しています。今回は4歳から6歳の社会性の育ちについて述べましょう。

<今後の予定>

- * 4月30日(火)・5月2日(木)は通常オープンです。ご利用下さい。
- * 5月12日(日)・13日(月)子供服などの好評ミニバザーを開催します。只今不用になったリサイクル服や子ども用品を集めています。ご協力の程お願い申し上げます。
- * 6月上旬中学校養護教員の先生の話聞く会を設けます。思春期真っ只中の子どもの様子を伺いましょう。詳細は後日に。
- * 6月8日(土)ヴァイオリンとギターの演奏会をお隣の「有料介護施設＝らいふ」ホールで11時から行います。0歳児は無料ですが、大人＝500円・子ども＝300円で参加できます。近くチケットを販売します。素敵な音楽でリフレッシュしましょう。

<お礼>・・・かわさきサポート基金ご協力ありがとうございました

おいでおいでルームは、現在任意団体として、地域住民・利用者に支えられ、地域子育て応援団として活動を続けて5年目に入りました。かわさきサポート基金は、100名近い方々のご寄付で、25年度も継続的な事業運営ができる運びとなりました。ここにご報告申し上げます。寄付の使い道として、家賃に充当・事業内容の充実を図り、より一層誰もが利用できる居場所でありたいと願っています。